教養部会准教授　早川　知江

1．研究活動

論文 「絵本の文と絵の関係性システム」	2015. 6	『機能言語学研究』第8巻 pp. 115-140 日本機能言語学会	絵本の文と絵は「一致」「補足」「誇張」「対立」など、さまざまな関係性で成り立っている。その関係性の選択肢を、機能言語学の一派である選択体系機能理論を用いてシステムの形に整理した。
プロシーディング 「絵本の絵と文：表現の得手不得手と協力関係」	2015. 10	『Proceedings of JASFL』Vol. 9: pp. 1-14 日本機能言語学会	絵本の文と絵の意味内容が一見一致している例に焦点を当て、言語学理論の観点から詳細に分析すると、「文だけが表す意味」「絵だけが表す意味」があることを明らかにした。それにより、文の特性、絵の特性、両者を併せた絵本の特性の一端を示した。
学会発表 「絵で表せる意味、文で表せる意味：絵本の文を絵にする」	2015. 10. 10	日本機能言語学会(JASFL)第23回秋期大会（玉川大学において）	絵本においては、絵でのみ表される意味、文でのみ表される意味がある。絵を見ずに、絵本の文だけ聞いた被験者（本学学生の協力を得た）が、文の内容をどのように絵で表したかの実験データを分析することで、「意味」には、絵にしやすい意味と絵にしにくい意味があることを示した。
論文 「「外国語活動」における絵本の利用と語彙文法」	2016. 1	『名古屋芸術大学教職センター紀要』第3号 pp. 7-23	小学校外国語活動で主に使用されている参考書Hi, Friends!で導入されている文型・文法事項と、実際の英語絵本で使用されている文型・文法事項を比較分析することで、小学校外国語活動で広く利用されている絵本が、児童がまだ理解できない表現を多用している可能性を示した。

論文 「絵で表せる意味、文で表せる意味――絵本の絵を言語化する」	2016. 3	『名古屋芸術大学研究紀要』第37巻 pp. 263-278	絵本においては、絵でのみ表される意味、文でのみ表される意味がある。文を聞かずに、絵本の絵だけ見た被験者（本学学生の協力を得た）が、絵の内容をどのように言語化したかの実験データを分析することで、「意味」には、ことばにしやすい意味と、しにくい意味があることを示した。

2．教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当　□有　■無

授業科目名　英語１	
◆前期　◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
英語の絵本を読む中で、学生が楽しみながら中・高までに学んだ英文法を１から復習し、大学レベルの授業への橋渡しができるようこころがけた。毎回小テストを行うことで、学生が学習内容をこまめに復習できるよう工夫した。	授業は英語の絵本を講読する形式。毎回、絵本本文をプリントにして配布した。プリントには、学生が自分で予習してきた訳を書き込むスペースや、板書事項をメモする部分なども設け、教材としての利便性を図るとともに自主的な学習を促した。
授業科目名　英語３	
◆前期　◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
「英語でアート」をテーマに、美術・デザインにまつわる基礎的な英語表現を紹介し、英語の指示に基づいて彩色などの実技課題がこなせるか、アート作品について英語で語れるか、などの活動を行った。これにより、語学と専門分野のつながりを明確にした。	授業はすべてプロジェクタに映写する方式で行ったが、スライドを印刷して学生に配布することで、予習や授業中の書き込みがしやすいよう工夫した。また、映写・配布する資料はすべて英語にし、学生がなるべく多くの英語インプットに触れるようにした。
授業科目名　外国語活動	
□前期　◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
人間発達学部専門科目。学生が小学校教員になった時にすぐに「外国語活動」を行えるよう、教材・副教材の利用法、授業で使えるゲーム・アクティビティ、授業運営に使う英語表現など、実践的な知識を多く紹介することを心掛けた。また、児童が最初に英語に触れる活動であるため、発音の向上にも重点を置いた。	市販の教科書（南雲堂『Bright and Early: 子供に英語を教えるための教室英語』）を主に用いたが、それ以外に、文科省編纂の指導書*Hi, friends!* や、付属する年間カリキュラム案、外国語活動での実践活動案集など、学生が今後参考にできる資料を多く紹介することを心掛けた。

3．学会等および社会における主な活動

日本機能言語学会（JASFL）	2000. 4 ～現在まで	学会発表・学会誌への投稿